

第21回無担保普通社債（ソーシャルボンド） 資金充当状況・インパクトレポーティング（2025年12月時点）

調達金額	未充当金額
200億円	0億円（全額充当済）

プロジェクト名称： プラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資、運営、原材料の調達、プラズマ乳酸菌の研究開発

プロジェクト概要：

「プラズマ乳酸菌」は、健康な人の免疫の維持をサポートする乳酸菌です。世界で初めて（注1）免疫の司令塔pDC（プラズマサイトイド樹状細胞）に働きかけることが論文で報告されています。キリンホールディングス、小岩井乳業、協和発酵バイオが共同で研究を進め、国内外の大学・研究機関の協力のもと、これまで多数の論文・学会発表を行い、世界中で高く評価されています。2023年1月には、世の中を変革する優れたイノベーション事例を表彰する「第11回技術経営・イノベーション大賞」にて、「プラズマ乳酸菌」の発見・研究・事業化が、文部科学大臣賞を受賞しました。5月には、「プラズマ乳酸菌」に関する研究が、公益社団法人 発明協会主催の「令和5年度全国発明表彰」において、「恩賜発明賞」を受賞しました。本受賞は、「プラズマ乳酸菌」の発見・商品化に関する発明、取り組みが評価されたもので、健康食品素材としては初、食品企業では59年ぶりの受賞となりました。権威ある賞の受賞により、信頼できる素材として「プラズマ乳酸菌」のさらなる価値向上につながりました。

プラズマ乳酸菌の需要増加に対応するために、2022年に乳酸菌原料を製造する拠点「iMUSE（イミューズ）ヘルスサイエンスファクトリー」（埼玉県狭山市）の製造設備増設が完工し、菌体の年間生産能力は約2倍に拡大しております。今後も、キリングループの35年以上の研究から生まれた「プラズマ乳酸菌」を使用した商品をグループ横断で展開し、“免疫ケア”をしながら生活する一人ひとりの健康を支援し、明るく健康で生き生きと過ごせる社会の実現を目指します。

（注1） ヒトでpDCに働きかけることが世界で初めて論文報告された乳酸菌（PubMed及び医学中央雑誌Webの掲載情報に基づく）

充当済金額（累計）： 87億円（リファイナンス割合96.3%）

□ インパクトレポーティング

プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト	2025年コミットメント実績
免疫機能の維持を通して健康・長寿社会の達成に貢献する事業	プラズマ乳酸菌の研究開発及びプラズマ乳酸菌原料粉末の製造に資する設備投資・運営・原材料の調達	・プラズマ乳酸菌の製造能力の増加 ・論文発表 ・学会での発表 ・アカデミアとの提携	お客様の免疫機能維持に貢献するプラズマ乳酸菌の国内外の継続摂取人数の増加	74.5万人



第21回無担保普通社債（ソーシャルボンド） 資金充当状況・インパクトレポーティング （2025年12月時点）

プロジェクト名称： シチコリン製造に資する設備投資、運営、原材料の調達				
プロジェクト概要：				
2 高齢をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう				
「シチコリン」は、世界各国で長年にわたり脳疾患の治療薬や認知機能の向上をサポートする健康食品等に利用されている素材で、各国で高齢化が進む中、急激に需要が高まっている高機能素材です。協和発酵バイオは「シチコリン」を、世界各国の制度に合わせて医薬品原料や健康食品素材として販売しておりこのたびの生産体制増強により、他社医薬品・健康食品メーカーへのグローバルな安定供給体制を整えます。市場全体は拡大しており、競争環境が厳しくなるなかでも米国では高シェアを堅持し、展開領域を拡大することにより、2025年度も連続で最高の販売数となりました。引き続き、シチコリンの成長に向けて注力することで、世界各国のお客様の健康課題を解決し、社会的価値と経済的価値の創出を目指します。				
充当済金額（累計）： 95億円（リファイナンス割合58.7%）				
□ インパクトレポーティング				
プロジェクト	アウトプット	アウトカム	インパクト	2025年コミットメント実績
脳機能パフォーマンス向上と 衰え予防を通して健康・長寿 社会の達成に貢献する事業	シチコリン製造に資する設備投 資・運営・原材料の調達	・シチコリン製造能力の増加	お客様の脳機能のパフォーマンス向上 と衰え予防に貢献するシチコリン配合 製品（医薬品・健康食品など）の国内 外の使用人数の増加	299万人



第21回無担保普通社債（ソーシャルボンド） 資金充当状況・インパクトレポーティング （2025年12月時点）

プロジェクト名称：	Blackmores Limitedの株式取得
弊社第22・23回債ソーシャルボンドレポーティング参照。	
充当済金額（累計）：	18億円（リファイナンス割合100%）

□ インパクトレポーティング

弊社第22・23回債ソーシャルボンドレポーティング参照。